

原 著

日中異文化接触場面における意識調査：中国人大学生の場合

横林 宙世*、羅 明坤**

〈要 旨〉

筆者らは日中両国の大学生を主な対象として日中接触場面におけるコミュニケーション上の問題点を明らかにし、円滑なコミュニケーションを可能にする方法を探り、その結果を学生教育に活かすための知見を得たいと複数年次の研究計画を立てた。初年度は文献調査等に基づき、西田（1989）を参考に、日本人と中国人の接触場面对話形式で示したアンケートを作成し、中国の日本語専攻の大学生を対象に調査をした。これは日中異文化接触場面对話形式で設定し、対話に登場する日本人と中国人の言語・非言語コミュニケーションについて、どのように感じるか、5段階尺度で評価するものである。必要に応じて文章で回答する部分も加えた。数名にはフォローアップインタビューも行ったが、本稿では質問紙調査の記入回答に関してのみ分析、考察した。相対的に日本人対話者の言語・非言語コミュニケーションに好意的な評価が多かったが、日本人の言語コミュニケーションが不十分な場合には否定的評価が見られる場合もあった。

キーワード：日中異文化接触場面 中国人大学生 質問紙調査 対話場面 意識調査

I 研究の背景

異なる文化との接触や交流に関する心理学的研究は当初は欧米・日本の文脈の中での研究が多かった（直塚,1980など）。そして、一時滞在者（ソジョーナー）としての留学生が異文化の中でどのように適応していくか（Furnham & Bochner, 1982、モイヤー, 1987など）、あるいは帰国子女の日本文化への再適応はどうか（田村・稲村, 1987など）などの研究も適応上の阻害要因に重きが置かれている場合が多かった。岩尾・萩原の長期に亘る留学生の対日イメージ研究以降、1980年代後半からは留学生を対象とした適応研究が多く発表されている（高井, 1989）。また在日留学生の遭遇する場面を想定し、来日直後のオリエンテーションや留学生担当の教職員が参考にできる研究や事例集なども作成されている（大橋他, 1992など）。

日本人にとって1980年代までの国内での異文化接触は日常的には在日韓国・朝鮮人や中国人、留学生、企業では欧米系ホワイトカラーの幹部、上司、海外では旅行先、留学先、赴任先の国民であった。渡辺（1995）は欧米に特化せず、韓国人、中国人、インドネシア人、

アラブ人など、海外での異文化接触の事例を多く扱っている点で、参考になる。

グローバル化、ボーダレス化の今日の社会では日本においても外国籍住民や日本国籍を得た、人種的にも多様な日本人が増えてきている。隣近所にも大学にも職場にもさまざまな外国出身者がいる。2008年度の日本への留学生の8割はアジア出身者でそのうち中国人の占める割合は一番高い¹。中国人が日本に留学するばかりでなく日本人が中国に留学するケースも増加してきている。葛（2003）は留学前後における対ホスト国のイメージ変化を調査している。

卒業後日本での就職を希望する留学生も多い。また留学生の雇用に積極的な企業も増えてきた。中国に進出している日本企業は多く、中国で働く日本人も増加している。大連経済特区開発区では外資系企業が約2000社あり、その中で日系企業が一番多いとのことである²。中国人大学生も卒業後は日系企業で働きたいとの希望が多い。このような時代背景の変化を受けて企業内異文化接触に関する研究も増えてきた（朴, 2005など）。

筆者らは日中両国の大学生を主な対象として日中接

* 西南女学院大学人文学部観光文化学科 教授

** 西南女学院大学人文学部観光文化学科 特任教授

触場面におけるコミュニケーション上の問題点を明らかにし、誤解などの起こらない円滑なコミュニケーションを可能にする方法を探り、その結果を学生教育に活かすための知見を得たいと複数年次の研究計画を立てた。本稿では初年度に実施した質問紙調査の結果を発表する。

II 研究方法

1 依拠する理論的枠組み

本研究は質問紙調査という横断的・量的方法論を取り、日中接触場面での日本人側・中国人側への評価を調べた。質問紙の作成に関しては西田（1989）の枠組みを援用した。一般的に質問紙調査では「～のような場合、どう思いますか？」のような文脈無しの抽象化された状況で回答を要求するものが多いが、コミュニケーションは必ずある文脈の中で生身の人間が様々な意図を持って行うものであり、真空の中で行われるものではない。そのため場面を設定した日本人と中国人の対話を読んで、双方の言語・非言語行動を評価する形式にした。質問紙の作成は西田（1989）を参考に日中異文化接触場面に適合するように作成した。西田は全てを言語化するわけではない日本特有のコミュニケーション・ルールで日本人がアメリカ人とコミュニケーション・ギャップを生じやすいかを調査するため、日本人とアメリカ人の接触場面の対話例を作成し、日米大学生を対象に面接調査をした。依拠する仮説は「人間のコミュニケーション行動は、各個人が属する文化のコミュニケーション・ルールに基づいている」（ルール理論）と、「コミュニケーションの際に使用される言語、顔の表情、ジェスチャー、相手と自分の社会的地位、コミュニケーションする場所といった全てのものが、我々のコミュニケーションに影響を及ぼす」（システム理論）である（西田，1989，7）。具体的な対話場面を示すことで、対話に登場する異文化出身者の言語・非言語コミュニケーションに対する評価が容易になる。それは「実際の異文化コミュニケーションに必要な知識は、一つ一つの行動様式に関する知識ではなく、コミュニケーションの流れの中でコミュニケーション・ルールに基づいた言語表現や行動様式がどのような役割を果たすかといったようなことに対する知識」（西田，1989：7）だからである。

2 用語の定義

1) コミュニケーション

本稿での定義は前項で述べたように異なった文化背景を持つ対話の参加者が言語コミュニケーションが必要とされる特定場面で意識的あるいは無意識に言語的、非言語的メッセージを相手に送り、自分なりの意味づけをしながらメッセージを受け、次のメッセージを言語的、あるいは非言語的手段で送るという相互依存的共同作業プロセスである。

2) 異文化接触場面

渡辺（1995：92）は異文化接触（intercultural communication）と異文化間接触（cross-cultural contact）の相違について、前者は「ある程度の文化化を経た人が、他の文化集団やその成員と持つ相互作用」とし、斉藤の「文化的背景を異にする人々の間でなされる対面的相互作用（face to face interaction）」と区別している³。本稿では具体的対話例の参加者への評価を問う点では斉藤の定義内容に近いが、「異文化接触場面」という用語を使用する。

3) 評価

調査協力者が質問紙の対話例の当事者になったつもりで相手の言語・非言語コミュニケーションにどのような反応（フィードバック）を示すかという意味であるが、回答の選択肢が5件法であらかじめ与えられているので本稿では評価という語を用いる。

3 質問紙調査の作成

一般的な質問紙調査は文脈と離れた抽象的な質問に答えさせるものが多いが、上述のように具体的な対話例を示すことで、コミュニケーションの流れの中でコミュニケーション・ルールに基づいた言語・非言語行動がどのような役割を果たすかというプロセスに焦点を当てた調査が明らかになると考えられる。筆者らは西田（1989）を参考に、異文化滞在者の異文化への適応に関する状況、ビジネスに関する状況、教育に関する状況と、状況に関係なく用いられる言語表現に関するルール、および非言語行動に関するルールに注目し、日本人と中国人の接触場面での具体的な対話例を26作成し、本学日本人学生16名に実施し、彼女らのフィードバック等を元に内容や表現を変えた改訂版を作成した。これは対話に登場する日本人、中国人の言語、非言語行動に対して読み手がどのように思うか、予め予想されそうな評価反応文を4～7示し、非常に同意か

ら不同意まで5件法で尋ねるものである。具体的には異文化への適応8例（挨拶に関するルール2、もてなし方、もてなされ方に関するルール5例、事故処理に関するルール1）、ビジネス場面9例（取引先との関係に関するルール2、上司と部下との関係に関するルール6、同僚との関係1）、教育場面3例（教師と生徒1、先輩と後輩の関係2）、言語・非言語表現6例（言語表現4、非言語行動2）を作成した。紙幅の制限上、巻末にもてなし方・もてなされ方に関するルールの対話例「4 ハウスイア」と先輩と後輩の関係の対話例「19 忘年会より試験」の計2例を示す。

III 調査の目的

日本語や日本文化に関心があり、卒業後日本人と接触することの多い職業に就く可能性の高い中国人学生の自国民及び日本人の言語・非言語コミュニケーションに対する評価を質問紙調査により調べること。

IV 調査方法・調査時期・調査対象者

2009年3月中旬に北京の2大学と大連の1大学の2年次～4年次までの日本語専攻の学生、計124名を対象に、質問紙調査を実施した⁴。大学により学生の男女比は異なるが相対的に女子学生が多い。北京では筆者らが大学に出向き、学生に趣旨を説明し、回答してもらった。数名の学生が昼食時の休憩時間に共同インタビューに応じてくれたが、それについては本稿では扱わない。大連では共同研究者の中国人教員に調査を依頼し、回答を郵送してもらった。いずれの大学も授業時間を使い調査に協力してくれた。

V 調査結果

結果をP.155～P.160に示す。回答者の7割以上の同意または不同意を得た項目を表1-1～1-3に、回答が分散した項目を表2-1～2-3に示す。本研究では統計的検定は行わないため、7割以上を得た項目を調査対象者群の対話例の日本人または中国人の「コミュニケーション」に対する評価、4割以下で回答が同意、中立、不同意に分散した項目を他の要因による評価と仮定する。

合計26の対話例のうち対話例24を除く25例に7割以上の同意または不同意を得た項目が見られた。以下に7割以上の回答例について対話者双方への評価、一方のみへの評価に分けてそれぞれ好意的または中立評価か否定的評価かに分けて(1)対話の概略と(2)回答者の反応を示す。次に評価が分散した項目について(3)で対話例の日本人および中国人への評価に言及する。

1 対話者双方への評価

(1) 好意的反応や中立的反応の対話例

対話者双方に対し好意的反応や中立的反応の見られた対話例は8例である。これらの対話例はコミュニケーション上の誤解や問題がないと解釈される。

1【引越しの挨拶】(1)手土産持参の日本人が隣の中国人宅に引越しの挨拶に行く。(2)対話中の日本人、中国人どちらにも好意的反応。日本人が「プレゼントにより文化の壁を破ろうとしている」との評価文に対しては同意、中立、不同意が3割台で並んでおり、わずかに不同意が多いものの、回答者の評価は三種に分かれる。

3【お茶に招待される】(1)在中国の日本人が知り合いになったばかりの中国人宅にお茶に呼ばれ、飲み物の希望を尋ねられて一番簡単なものでいいと答える。中国人が色々薦めてくれる。(2)典型的な日本人と普通の中国人、だが中国人の言動はとても親切なものであるという高い評価。(3)日本人に対し「主体性が無い」同意、「遠慮しすぎる」不同意がわずかに多いが、これも3割台で評価は3分されている。中国人に対しては「戸惑っている」に不同意が4割、同意が3割である。

6【食べ物をお勧めする】(1)日本留学予定の娘を持つ中国人が日本のことを詳しく知るために日本人留学生を自宅の夕食に招く。色々料理をお勧めするが日本人は「もう結構です」を繰り返すばかり。(2)普通の日本人と中国人。日本人は十分に食べたのだろう。表現の仕方が悪いとは思わない。(3)日本人は「礼儀知らず」ではないが4割、そう思うが3割ある。中国人は「もてなし方が上手」に関しては中立4割、不同意3割。「無理に薦めている」は5割近くが不同意。

9【日本式セールス】(1)市場開拓、新製品売り込みの任務を帯びた日本人社員が初めて中国に出張する。某会社を訪れ中国人担当者に手土産を渡し、商談に入ろうとする場面。(2)日本人社員、中国人社員どちらにも好意的反応。手土産は賄賂ではなく、感じが良い。

(3)日本人は「腰が低すぎる」ことはないと半数弱が評価しているが、「中国のやり方を知るべき」であると思う者も4割近くいる。

13【休日を返上して働く】(1)日本企業の中国支店長が部下の中国人社員2名に土曜出勤を依頼するが、どちらからも良い返事をもらえない。(2)休日出勤を依頼するのは日本人の感覚から言えば普通の人である。長時間労働の後、休みを希望することは非難できないし、土曜は休みたいとの希望は中国では普通である。(3)「部下は上司の頼みを聞くのが当然」に対しては中立>不同意が双方で7割を超え、同意は2割を切る。

15【ガールフレンドを紹介する】(1)2年の予定で赴任した来日1ヶ月の若い中国人社員が上司からガールフレンドを紹介しようかと言われるが、断る。(2)日本人上司は親切ないい人。中国人部下は普通の中国人で反抗的ではない。(3)4割近くがこの中国人は「異なった考えに対しオープンでない」し、「日本に慣れていないから(反応は)仕方ない」とは言えないと答えている。

17【男女の役割】(1)来日1ヶ月目の中国企業の社員が同僚の日本人と飲みに行く前の会話。中国人は妻を連れて行っていいかと尋ねるが日本人は日本ではそのような習慣はないと答える。(2)男の付き合いを大切にする日本人。日本では男性が主導権をにぎっている。中国人は自国文化に基づいて発言したので妻を同等に扱っている。夫婦で色々楽しめる素敵なお夫という好意的評価。(3)半数近くの回答者がこの日本人は「日本の習慣を教えていて良い」と思っている。中立評価も4割近い。

20【選抜 先輩を差し置いて選ばれる】(1)大学選手権大会の選手に選ばれた日本人留学生が選ばれなかった先輩のことを気にしているが、中国人学生には理解できない。(2)他人のことを気づかっている。日本人の典型的反応で気にするのは当たり前。(3)日本人に対しては半数弱が「中国の習慣を知らな過ぎる」と思うが「つまらないことに拘っている」については評価が分かれ、同意、不同意とも4割弱である。

23【講演の感想】(1)中国人学者が日本の大学で講演をした後の日本側の挨拶の言葉について学者が同僚に自分の講演が評価されたのかどうか分からないと感想を述べる。(2)一般的な礼を述べている普通の日本人で後援者に対して礼儀正しくマナーも心得ている。中国人は曖昧な言葉に対し正確な反応を知りたいと思っただけで無礼ではない。(3)日本人は4割が「中国人に通じるように礼を述べるべき」に同意あるいは中立回答、「反応の仕方が中国人と違っていただけ」は評価

が分散している。

(2) 対話者の一方の言語行動に問題、あるいは相手文化への理解が不足とする対話例

対話者の一方の言語行動に問題、あるいは相手文化への理解が不足とする対話例は10例である。以下に中国人側、日本人側、双方に分けて示す。

① 両方に問題あり 3例

14【雇用関係—契約書無しで雇われる】(1)中国に事務所を設けることになった日本人が契約書無しで事務員を採用しようとする。(2)日本人は契約書を交わすべき。中国人は普通の中国人で困惑しているがもっと質問すべき。(3)日本人は「いい加減な人」に同意が3割強、不同意が4割。「正直な人」は中立>不同意>同意の順。
18【授業態度】(1)来日早々の大学の客員教授が講義の後、質問や意見があるかと聞くが学生から反応が皆無。(2)日本人学生は反応すべき。中国人教授は困惑しているが日本のやり方を知るべき。(3)「内容を理解したから沈黙」と「理解していないが沈黙」はいずれも不同意>同意であるが、前者では評価が3分し、後者では不同意が4割近い。

19【忘年会より試験】(1)中国人留学生が所属クラブの先輩から忘年会への出席を要求されるが翌日の期末試験の勉強のため行けないと断る。(2)日本人は中国のやり方を理解すべき、中国人はもう少し上手な言い方をすべき。(3)4割が日本人は「何もわかっていない」わけではないが、「押し付けがましい」と回答している。

② 中国人側に批判的 4例

4【ハウスツアー】(1)中国生活1年目の日本人主婦が新しくできた中国の友人を初めて自宅に招く。家の中を見てもいいかという中国人に日本人は見せられないと断る。(2)ごく普通の日本人と普通の中国人で率直な人だが、中国人は日本の文化を理解していない。(3)このような日本人の行動は当然であるとの評価には中立と同意が4割弱でほぼ同率である。

8【交通事故の見舞い】(1)被害者の日本人が入院中に1度も見舞いに来ない中国人加害者に腹を立てている。見舞いに来た中国人友人は治療費は保険会社が払ったし、怪我也治ったし、腹を立てる理由がわからないと答える。(2)日本人の反応は当然で、人間関係を重視している。対話の中国人の反応は日本人には理解できないだろう。この中国人は日本人のことを理解していない。自分が加害者なら見舞いに行く、見舞いに行くのが常識、見舞いに行ったほうが人間関係がうまくいく

等。(3)4割が対話の中国人は普通の人であるが、思慮が足りない」と評価している。不同意は3割台。自分が加害者だったら保険会社に面倒を見させるは、3割台で不同意が同意を上回る。

12【男女の行動様式】(1)初来申した日本人ビジネスマンが中国人女性社員の行動を批判するのに対し、中国人部下が中国の事情を説明するが、日本人は納得しない。(2)中国人はもっと説明すべき。(3)半数近くが日本人は性差別者ではないとの評価。そう思うは3割強。中国人に対しては理解できないことを言っている、さすが男女平等の国は4割台で、中国文化をうまく説明しているとは思わないとの評価が半数弱ある。

16【上司への土産】(1)日本人社員が在日中国人上司宅に父親が作った無農薬の果物をお土産として箱に入れて持って行く。中国人上司は一応礼は言うがそのまま開けないで別の話を始める。社員は心配になる。(2)贈り物に対し素直でない反応、無礼、日本人を理解していない。(3)分散評価に相当するものはない。

③ 日本人側に批判的 3例

5【七時に招待される】(1)日本人留学生が中国人家庭に夕食に招待される。彼女はおみやげを買って行くが、約束の時間に30分遅れて到着する。招待のお礼は述べるが、遅刻についての言及はない。(2)日本人は時間を守るべき。(3)この日本人は「礼儀正しい」「感じが良い、気が利く」は3割台で不同意>同意。中国人に対しては感じが良い人は中立、同意評価が3割台でほぼ同率である。

6【食べ物を勧める】(1)日本留学予定の娘を持つ中国人が日本のことを詳しく知るため日本人留学生を自宅の夕食に招く。食べ物を色々勧めるが日本人は「結構です」を繰り返す。(2)十分に食べたのだらうとの回答と断る場合の表現の仕方が悪いとの回答がほぼ同数。(3)日本人は礼儀知らずとは思わないが4割台、中国人はもてなしが上手は中立>不同意で、同意は2割台。

11【部下を自宅に招待する】(1)2ヶ月前に中国に赴任した日本人上司が部下の中国人を土曜日に自宅に招待しようと木曜日に電話をするが、中国人は別の予定があって行けないと断る。(2)日本人上司の招待の電話という行動に関しては好意的であるが、もっと早めに連絡すべき、中国人の応答に関しては普通の中国人で礼儀正しく、感じが良いという評価。(3)分散評価に相当するものはない。

2 中国人あるいは日本人のみへの評価

1) 中国人への評価

① 好意的、納得、中立 1例

26【沈黙－会話が途切れる】(1)来中1年目の日本人留学生が中国人級友の家に招かれるが会話がはずまない。(2)普通の中国人で会話が途切れないう、共通の話題を見つけようと努力している。(3)日本人は消極的な感じがする、言動に悪いところがあるとの回答がそれぞれ4割、3割6分。

② 否定的 1例

2【大家の挨拶－「どちらへお出かけ？」】(1)出かけようとする留学生にいつものように大家が声をかけ、行く先を聞く。留学生はちょっと怒ったように答える。(2)学生は困っているようだとの評価だが、自分がこの立場だったらどうするかという問いには笑顔で、感じよく、「ちょっとそこまで」などと対応するという回答が多い。(3)干渉しすぎとは思わないという評価が干渉しすぎを上回っている。

2) 日本人への評価

① 好意的、納得、中立 2例

21【スピーチの始め方】(1)中国で講演をした日本人学者の謙遜した挨拶を聞いて有名な学者のはずなのに不思議に思う中国人大学生2名。(2)自信がないのではなく謙遜している普通の日本人。このような態度を好意的に取るし、講演に対し興味を失うことはない。(3)日本人の発話は外国人には誤解されやすい言い方である、中国人は普通の中国人であるの2項目は賛否ほぼ同率。しかし対話例のような反応は仕方がないとは思っておらず、不同意、中立が計7割を超える。自分が対話の中国人だったら聞き流すとの回答が4割を超える。

22【謙遜－自己(身内)を卑下する】(1)旅行で来日した中国人女性と買い物に付き合ってくれた日本人との会話。日本人は自分や子供について謙遜した言い方をする。(2)自分についても子供についても謙遜している。日本では当たり前の言い方。(3)中国人は日本人について無知、日本人を理解しようとしているは僅差で同意>不同意。日本人の使った表現「私はすることがないのでいつも遊んでいます」や「子供に手を焼いています」などは謙讓表現の決まり文句と捉えている。

VI 考察

26の対話例のうち7割以上の回答者が選んだ評価項目が皆無であった対話は1例のみであった。対話に登場する日本人や中国人に対して好意的あるいは中立的の評価をする回答が多かった。中国人と日本人への評価を比較すると中国人よりも日本人に対し、より好意的な評価が多かった。これは回答者が日本語専攻の学生達で日本文化や日本の事情に詳しいこと、日本人との交流があることなども影響している可能性が考えられる。

本調査で扱った26の事例を領域別によると、1、異文化適応場面8例、2、ビジネス場面9例、3、教育場面3例、4、言語・非言語表現場面6例の合計26例である。

異文化適応場面は挨拶に関するルール2、もてなし方・もてなされ方に関するルール5、事故処理に関するルール1で対話例1～8に相当する。ビジネス場面は取引先との関係に関するルール2、上司と部下との関係に関するルール6、同僚との関係に関するルール1で、対話例9～17、教育場面は教師と生徒に関するルール1、先輩と後輩の関係に関するルール2で、対話例18～20に相当する。言語・非言語表現は言語表現4、非言語行動2で対話例21～26が相当する。以下では場面別に検討する。

1 異文化適応場面

引越しの挨拶は何度も経験することではないし、最近では日本人同士でもしない場合が増えているかもしれない。特に都会生活者、若者などは隣近所との付き合いは減ってきている。外国人の場合ソーシャルサポートの意味でも挨拶をして人間関係を構築しておくことは有益であろう。文化によっては旧住人が新住民を訪ね、手助けをする場合もあるが中国は日本と同様であまり問題はない。外出時の大家の挨拶に対し「ちょっとそこまで」という返事が返せない外国人の場合、コンフリクトを生じるかもしれない。対話例の中国人はしつこい大家に困っているようであるが、本調査では外出の際、大家に行き先を問われることを「干渉し過ぎ」と思う回答が3割、思わない回答が5割弱であり、回答者は決まり文句の挨拶と捉えている。回答者は対話例の中国人のように不快感を表さず、笑顔で対応するとも答えている。

中国人の家にお茶に招待される場面では飲み物の希望を聞かれ自分の希望を述べない日本人のコミュニ

ケーションに主体性がないと評価しながらも、自分が客なら対話の日本人と同じ対応をするという回答が5割近くあるのも興味深い。中国人来客が日本人に家の中を見せて欲しいと頼み、断られる例では日本人の対応は普通で、中国人は日本の慣習を理解していないという評価である。食事の招待に30分遅刻の対話でも食べ物をお勧めする対話でも日本人の言語表現の不足が目立つが、中国人は好意的に解釈している。

交通事故の例では対話の中国人に対し普通の人であるが思慮が足りないという評価をし、自分が加害者なら見舞いに行くという回答が多い。

2 ビジネス場面

土産や贈り物を渡すことに関して問題なしとする反面、市場開拓、新商品売り込みの対話例で「土産は賄賂ではない」、「感じが良い」の評価が7割以上あるにも関わらず、対話例の中国人が日本人から「土産を受け取ったのは当然」に対する不同意が同意を1割強上回っている点に注目したい。面接調査などで理由を問う必要がある。日本人上司が部下を自宅に招待する事例では行為自体は評価が高いが、時間的余裕を持って知らせるべきとの評価は当然であろう。

男女の行動様式に関しては中国女性の振る舞いを批判する日本人男性を、日本の文化、感覚で物事を見ているので「当然の反応である」と、また退社後の飲み会に誘われ妻を同伴してもいいかと聞く来日早々の中国人社員の例は夫婦一緒にという中国と、男女別行動が多い日本の違いであろうか。中国人男性に対しては8割近くが「夫婦で色々一緒に楽しめるとても素敵な夫である」との評価である。日本人上司が中国人部下にガールフレンドを紹介しようという対話例では上司の好意を評価しつつも、当然中国人は断る。

「契約書無しの雇用は考えられない」に対しては半数が不同意である。避けるべきだが場合によっては法整備の不備などで皆無ではないとの回答である。当然の回答ながらそのような雇用には9割強の回答者が「不安を感じる」。

3 教育場面

「質問は？」と聞く中国人教師に無反応の日本人学生の対話例、大学の部活の忘年会に誘われた留学生が翌日の期末試験が大事だから参加できないと断る例、先輩を差し置いて大学の選手権大会選手に選ばれた日本人学生の戸惑いに対し、実力ある者が選ばれるのが当然という中国人学生の反応は最近の日本人学生にも

通ずるかもしれない。

4 言語・非言語コミュニケーション

謙遜と共に始める日本人学者の講演を聞いて違和感を覚える中国人学生達、自分や子供のことを卑下する日本人主婦、日本人主催者の曖昧な評価の表現で自分の講演が皆に満足感を与えたのかどうか不安な中国人学者、質問に単語でしか答えられない日本人留学生に対し、何とか会話を展開させようと努力を続ける中国人同級生の対話例を示した。謙遜表現に関しては決まり文句と捉え否定的評価はあまりないが、必要な場合にも言語化がされていない事例では従来から指摘されてきたように日本人の言語表現の未熟さ、発信力の弱さを再認識させられる結果が示された。

Ⅶ おわりに

本研究では中国人大学生の日中異文化接触場面への評価を論じた。回答者からは対話例の日本人の言動に対して予想以上に好意的な評価が多かった。調査に協力してくれた中国人大学生は日本語学科の学生で、日本語力もかなり高く、日本人や日本文化への知識・興味・関心が一般の大学生よりも高いためとも考えられる。大学の授業や日本人との交流あるいはインターネット、テレビ、まんが、アニメなどからリアルタイムで日本の情報を得ている場合が多い。ある大学でグループ面接をした2年生の学生達は限られた日本語力ながら積極的に意見を述べてくれ、時間が足りないほどであった。改めて日本人との違いを再認識させられた。調査結果の日本人対話者への否定的評価は主に言語表現の不足に起因する可能性が考えられる。教師の質問に無反応の日本人学生の例はよく欧米の教師から指摘される。内気な中国人学生でもこのような場合に無言の反応はありえない。上司からの突然の招待に調査対象者は1週間前に知らせてほしいと回答している。

本研究は質問紙調査で回答選択型という調査方式の限界もあり、この結果を一般化はできない。分散回答が多かった評価項目は短い対話例からだけでは判断のしようのないものも含まれていた可能性も高い。フォローアップ・インタビューが必要である。今回のデータには含まれないが、対面式で選択理由や自由なコメントを要求した調査では誤解や不注意なミスから自分の評価と異なる選択肢を選んだ例も散見された。また

面接中に評価が変化していくような例も見られた。

アンケートの場面設定や対話例、設問等への不備も見られた。今後は再改訂版により量的、質的にもより良い研究結果を目指すことが課題である。

謝 辞

本研究に快く協力して下さった本学日本人学生、中国の3大学の皆さんに感謝します。

(本研究は2008年度西南女学院大学共同研究費の助成を得て行われた。)

注

- ¹ 文化庁国語科 (2008) 『平成20年度 国内の日本語教育の概要』 p.17
- ² 大連大学の教員の話による。
- ³ 渡辺には齊藤の定義の出典は明示されていない。
- ⁴ 質問量の多さと時間の制約のため調査を前半・後半や4分割して回答を依頼した。

引用文献・参考文献

1. 王少鋒 (2000) 『日・韓・中 三国の比較文化論 - その同質性と異質性について -』 明石書店
2. 王敏 (2004) 『<意>の文化と<情>の文化 中国における日本研究』 中公叢書
3. 大橋敏子・近藤祐一・秦喜美恵・堀江学・横田雅弘 (1992) 『外国人留学生とのコミュニケーション・ハンドブック トラブルから学ぶ異文化理解』 アルク
4. 岡益巳・深田博巳 (1995) 『中国人留学生と日本』 白帝社
5. 葛文綺 (2003) 「留学前後における対ホスト国イメージの変化に関する研究—中国人留学生と日本人留学生との比較を通して—」 『異文化コミュニケーション』 No.6, 117-130
6. 高井次郎 (1989) 「在日外国人留学生の適応研究の総括」 『名古屋大学教育学部紀要 教育心理学科篇』 36号、139-147.
7. 田村毅・稲村博 (1987) 『海外子女・帰国子女の不適応に関する臨床的研究—個人事例を中心に』

- 55-66
8. 直塚玲子 (1980) 『欧米人が沈黙する時』大修館書店
 9. 西田ひろ子 (1989) 『実例で見る日米コミュニケーション・ギャップ』大修館書店
 10. 西田ひろ子編 (2000) 『異文化間コミュニケーション入門』創元社
 11. 朴京美 (2005) 「中国の日系企業における異文化コミュニケーション」法政大学国際学研究科修士論文
http://www.obirin.ac.jp/pdf/gs_master2004/fall/international/20241136.pdf
 12. 馮愛萍 (2005) 「日中合弁企業における異文化コミュニケーション摩擦に関する研究－日本人管理者と中国人管理者の意識比較－」日本社会心理学会第46回大会発表 PDF版
 13. 彭飛 (2006) 『日本人と中国人とのコミュニケーション』和泉書院
 14. モイヤール康子 (1987) 「心理ストレスの要因と対処の仕方－在日留学生の場合」『異文化間教育』1, 81-97
 15. 渡辺文夫編著 (1995) 『異文化接触の心理学 その現状と理論』川島書店
 16. L.A.サモバー、R.E.ポーター、N.C.ジェイン著、西田司他訳 (1983) 『異文化間コミュニケーション入門－国際人用生の為に－』聖文社
 17. Furnham,A. & Bochner,S. (1982) *Culture Shock :Psychological reactions to unfamiliar environments.* London: Meuthen.
 18. Hall,E.T. (1959) *The Silent Language.* New York : Doubleday

表1-1 同意率、不同意率70%以上の回答 問1～8

対	1 引越しの挨拶	[中国で]	同意	不同意
日	5、非常に感じが良い。近所の人と知り合うのにとっても良いやり方だ		92.0%	
	6、礼儀正しく新しい友人を作ろうとしている		86.5%	
	3、「つまらないものですが」は、相手を侮辱することになる			86.2%
	4、ごく普通の日本人		85.0%	
	1、外国に来て、自分の国の慣習に従っている		75.3%	
中	2、親切で優しい		96.7%	
	3、礼儀正しい		91.8%	
	4、感じが良い		86.8%	
	1、このような場合の中国人の対応としてはごく普通		85.0%	
	2 大家の挨拶-「どちらへお出かけ？」	[日本で]		
中	2、困っているようだ		70.3%	
	《あなたが王さんなら、大家に対してどのように対応するか》			
	(1) 笑顔で対応する		91.4%	
	(3) 感じよく対応する		75.8%	
	(2) ちょっとそこまで、と軽く挨拶する		70.2%	
3 お茶に招待される	[中国で]			
日	1、典型的な日本人		84.9%	
中	1、とても親切的な言動		86.0%	
	5、普通の中国人		78.2%	
4 ハウスツアー	[中国で]			
日	3、普通の日本人		88.6%	
中	1、普通の中国人		85.0%	
	5、日本の慣習を理解していない		83.8%	
	3、率直		71.7%	
5 七時に招待される	[中国で]			
日	1、時間を守るべき		78.0%	
中	1、普通の中国人		85.4%	
6 食べ物を勧める	[中国で]	同意		不同意
日	3、普通の日本人		78.1%	
	5、十分に食べたのだろう		72.3%	
	2、表現の仕方が悪い			70.2%
中	2、普通の中国人		91.7%	
7 店屋ものでもてなす	[日本で]			
中	1、普通の中国人		87.7%	
8 交通事故の見舞い	[中国で]			
日	5、腹を立てている気持ちが分かる		79.9%	
	1、日本人として当然だ		77.5%	
中	3、日本人には理解できない反応		82.5%	
	5、森山氏を理解していない		77.9%	
	2、困惑している		70.5%	

表1-2 同意率、不同意率70%以上の回答 問9～17

対	9 日本式セールス	[中国で]	同意	不同意
日	1、一般的な、日本的な挨拶をしている		87.7%	
	2、普通の日本人		85.6%	
	5、感じが良い		74.6%	
中	3、普通の中国人		74.4%	
	5、感じが良い		70.3%	
	《手土産について》			
	2、土産は賄賂ではない		75.2%	
	3、感じが良い		70.4%	
	10 料亭でのもてなし	[日本で]		
中	1、普通の中国人		86.4%	
	11 部下を自宅に招待する	[中国で]		
日	1、普通の日本人		89.7%	
	5、パーティーの日時についてはもっと早く知らせるべき		78.5%	
	4、親切で感じが良い		74.4%	
	3、相手の都合を聞いてから計画すべき		70.8%	
中	1、普通の中国人		93.2%	
	5、付き合いが悪い			78.9%
	2、礼儀正しい		73.6%	
	3、感じが良い		71.1%	
	12 男女の行動様式	[中国で]		
日	4、日本の感覚で物事を見ている		80.3%	
	1、自国文化に慣れ親しんでいる日本人にとって当然の考え		77.7%	
	3、日本社会では部下は上司を立てるべきだと思う		76.3%	
	7、普通の日本人		73.2%	
中	1、文化の相違を良く心得ている		76.5%	
	7、もっと説明すべき		69.7%	
	13 休日を返上して働く	[中国で]		
日	1、日本人の感覚から言えば普通の人		73.4%	
中	5、長時間仕事をした後、休みを希望することを非難できない		73.0%	
	1、土曜日休みたいと言った二人の行動は中国では普通		72.2%	
	14 雇用関係—契約書なしで雇われる	[中国で]		
日	6、契約書を交わすべき		84.4%	
中	4、もっと質問すべき		78.4%	
	2、普通の中国人		75.8%	
	3、困惑している		71.9%	
	15 ガールフレンドを紹介する	[日本で]		
日	6、親切な人		80.2%	
	5、良い人		77.2%	
中	2、普通の中国人		85.2%	
	5、反抗的			70.7%
	16 上司への手土産	[日本で]		
日	1、普通の日本人		85.3%	
	2、日本では当たり前なこと、別に何とも思わない		73.2%	
中	3、普通の中国人		82.5%	
	2、山下からの贈り物に対し、ひねくれている		74.6%	
	1、日本人を理解していない		73.6%	
	4、無礼			72.0%
	17 男女の役割	[日本で]	同意	不同意
日	1、男の付き合いを大切にする日本人		82.3%	
	5、日本では男性が主導権を握っている		78.5%	
中	5、周氏は自国の文化的背景に基いて発言しただけ		82.3%	
	3、普通の中国人		78.7%	
	2、夫婦で色々と一緒に楽しめるとても素敵な夫		78.3%	
	6、周氏は思慮深い人で、妻を同等に扱っている		73.5%	

表1-3 同意率、不同意率70%以上の回答 問18～26

対	18 授業態度 「何か質問は？」	[日本で]	同意	不同意
日	3、教師に反応を示すべき		80.6%	
中	7、困惑している		76.3%	
	5、日本のやり方を知るべき		73.3%	
	19 忘年会より試験	[日本で]		
日	5、中国のやり方を理解していない		75.7%	
中	7、もう少し言い方を上手にすべき		83.2%	
	1、普通の中国人		79.4%	
	《あなたが李だったら》			
	3、言い方を気につけて断る		79.8%	
	《あなたが太郎だったら》			
	6、相手の都合を尊重する		90.0%	
	2、部活動の意味を教える		72.4%	
	3、太郎と同じように行動する			71.5%
	20 選抜—先輩を差し置いて選ばれる	[中国で]		
日	2、普通の日本人の典型的反応		86.3%	
	1、日本人だったら気にするのが当たり前		85.3%	
	4、他人のことを気づかっている		71.5%	
中	1、実力主義を常識と考えている普通の中国人		71.2%	
	21 スピーチの始め方	[中国で]		
日	5、自信がない人			86.8%
	2、謙遜している		83.0%	
	1、普通の日本人		80.9%	
	《あなたが対話中の中国人なら、渡辺博士にどのように反応するか》			
	3、謙遜な態度を好意的にとる		79.0%	
	4、講演に対し興味を失う			72.0%
	22 謙遜—自己（身内）を卑下する	[日本で]		
日	1、自分のことも子供達のこと謙遜する典型的日本人		80.5%	
	2、だらしない親。(吊儿郎当)			77.9%
	《「私はいつも家で遊んでいますから」という言葉をどう思うか》			
	1、謙遜している		76.5%	
	2、日本では当たり前の言い方		76.4%	
	5、家で遊んでいる			72.5%
	《「……手を焼いています」という言葉についてどう思うか。》			
	7、無責任な親			85.3%
	1、謙遜している		76.3%	
	23 講演の感想—「大変勉強になりました」という言葉	[日本で]		
日	1、講演に一般的な礼を述べている普通の日本人		90.1%	
	2、講演者に対して礼儀正しく、マナーも心得ている		76.5%	
中	1、反応を知りたいと思っている		78.6%	
	2、あいまいな表現だから状況による		75.6%	
	5、無礼			70.0%
	25 教授に相談—電話で失礼しますが	[中国で]		
日	1、礼儀正しい		82.2%	
	3、普通の日本人		76.0%	
中	1、親しみやすい人		71.6%	
	《京子の「研究室に伺わないで、電話で失礼」という発言をどう思うか》			
	2、感じが良い		76.5%	
	1、礼儀正しい		73.9%	
	26 沈黙—会話が途切れる	[中国で]		
中	2、共通の話題を見つけ出そうと努力している		86.2%	
	4、会話がとれ切れないように努力している		76.5%	
	5、普通の中国人		70.7%	

表2-1 評価が分散した回答 問1～8

対	1 引越しの挨拶	[中国で]	同意	中立	不同意
日	7、プレゼントで文化の壁を破ろうとしている		31.2%	32.1%	36.7%
	2 大家の挨拶	[日本で]			
日	2、干渉し過ぎ		32.5%	18.6%	48.9%
	3 お茶に招待される	[中国で]			
日	3、主体性がない		35.6%	33.3%	31.0%
	4、遠慮し過ぎる		35.0%	26.9%	38.1%
中	6、戸惑っている（困惑不解）		30.6%	28.9%	40.4%
	《あなたが客ならどのように対応するか》				
	2、対話中の日本人同じ		48.3%	10.6%	39.3%
	4 ハウスツアー	[中国で]			
日	1、中国に来て威年なのでこのような行動は当然		36.5%	37.4%	26.2%
	5 七時に招待される	[中国で]			
日	5、礼儀正しい		30.2%	24.5%	42.5%
	6、感じが良い、よく気が利く		34.6%	27.0%	38.4%
中	6、感じが良い		35.0%	36.6%	28.5%
	6 食べ物を勧める	[中国で]			
日	6、礼儀知らず		33.8%	22.2%	44.0%
中	6、もてなし方が上手		26.1%	39.6%	34.3%
	7、無理に勧めている		37.2%	14.6%	48.2%
	7 店屋物でもてなす	[日本で]			
日	2、相手が中国人だということを考慮していない		42.1%	12.3%	45.7%
	3、料理の勧め方がおしつけがましい		18.6%	44.9%	36.5%
	4、店屋物と言うべきではない		40.0%	28.3%	31.7%
中	2、戸惑っている		31.5%	42.6%	25.9%
	4、遠慮している		34.6%	32.5%	32.9%
	8、日本の習慣を知らなすぎる		30.9%	23.4%	45.7%
	8 交通事故の見舞い	[中国で]			
中	1、普通の中国人		46.8%	19.2%	34.0%
	4、思慮が足りない		42.0%	21.9%	36.1%
	《あなたが加害者なら、病院に見舞いに行くか》				
	4、保険会社に面倒見さ		31.1%	30.7%	38.1%
	5、状況によりけり（根据情況決定）		26.7%	30.0%	43.3%

表2-2 評価が分散した回答 問9～18

9 日本式セールス		[中国で]	同意	中立	不同意
日	4、腰が低すぎる。あまりべこべこしなくても良いと思う		24.6%	29.7%	45.8%
	7、中国のやり方を知るべき		39.5%	28.8%	31.7%
中	2、土産を受取ったのは当然		32.8%	19.6%	47.6%
10 料亭でのもてなし		[日本で]			
日	1、日本の観衆の押し付けは良くない		41.8%	38.4%	19.8%
	3、商売上の客を接待して、非常に感じが良い		37.4%	30.4%	32.3%
	5、徐氏が中国人ということを理解していない		25.9%	29.5%	44.6%
中	2、日本の習慣を理解できない		41.0%	40.1%	18.9%
	6、日本の行動様式を理解し、感じの良い中国人		43.5%	19.2%	37.3%
12 男女の行動様式		[中国で]			
日	6、性差別者		35.5%	16.3%	48.2%
中	2、理解できないことを言っている		46.2%	18.2%	35.6%
	3、さすが男女平等の国の人		40.1%	30.4%	29.5%
	6、中国文化を上手く説明した		37.2%	17.8%	45.0%
13 休日を返上して働く		[中国で]			
中	3、部下なのだから、上司の頼みを聞くのが当たり前		27.4%	37.7%	34.8%
14 契約書無しの雇用		[中国で]			
日	1、いい加減な人		35.2%	18.8%	46.0%
	5、正直な人		20.0%	45.2%	34.8%
中	6、契約書なしで働くとは考えられない		36.7%	12.8%	50.5%
	《契約書無しで雇われることについてどう思うか》				
	5、状況によりけり		41.8%	23.6%	34.6%
15 ガールフレンドを紹介する		[中国で]	同意	中立	不同意
中	4、日本に慣れていないから、仕方ない		21.7%	38.9%	39.4%
	7、異なった考え方に対し、オープンでない		39.7%	26.7%	33.7%
17 男女の役割		[日本で]			
日	2、日本の習慣を教えていて、良い		49.0%	39.8%	11.2%
18 授業態度		[日本で]			
日	6、内容を理解したから沈黙		32.5%	32.2%	35.3%
	7、内容を理解していないが沈黙		27.2%	33.4%	39.5%

表2-3 評価が分散した回答 問19～26

		[日本で]	同意	中立	不同意
19 忘年会より試験		[日本で]			
日	3、何も分かっていない		28.4%	30.1%	41.5%
	6、押し付けがましい		42.7%	42.3%	15.0%
中	2、自分の意思をはっきり言ってよい		48.1%	16.3%	35.7%
	6、何も分かっていない		35.3%	25.5%	33.2%
《あなたが対話の中国人なら》					
	1、顔だけ出す		37.5%	30.5%	32.0%
《あなたが対話の日本人なら》					
	4、忘年会への参加を促す		44.2%	21.2%	34.6%
20 先輩を差し置いて選ばれる		[中国で]			
日	3、つまらないことに拘っている		37.9%	23.7%	38.4%
	5、中国の習慣を知らな過ぎる		45.9%	21.7%	32.4%
中	3、舞の悩みを理解できない		47.7%	20.3%	31.9%
《あなたが対話の日本人なら、選ばれたことについてどう思うか》					
	3、素直に喜べないが、試合に出場する		44.0%	15.0%	41.0%
21 スピーチの始め方		[中国で]			
日	3、外国人には誤解されやすい言い方		42.1%	16.0%	41.9%
中	1、普通の中国人		43.8%	13.1%	43.1%
	2、そのように反応しても仕方ない		27.9%	35.9%	36.2%
《あなたが対話の中国人なら、講演者にどのように反応するか》					
	2、聞き流す		43.8%	36.1%	20.1%
22 謙遜-自己卑下		[日本で]			
中	3、田中夫人を理解しようとしている		38.6%	26.2%	35.2%
	4、日本人について無知		35.1%	32.4%	32.5%
《日本人の言葉「私は・・・いつも家で遊んでいます」をどう思うか》					
	3、もっと良い表現を見つけるべき		35.4%	33.5%	31.1%
	4、中国人に誤解される表現		44.2%	24.3%	31.5%
	5、誤解されやすい表現		35.6%	15.7%	48.7%
	6、働いていないので家事を楽しんでいる		44.6%	18.8%	36.6%
23 講演の感想		[日本で]			
日	4、中国人に通じるように礼を述べるべき		41.3%	40.0%	18.7%
	5、反応の仕方が中国人とは異なっているだけ		25.8%	42.6%	31.6%
中	4、日中間に文化相違があることに気づいていない		27.4%	44.3%	28.3%
《「博士からの意見」という表現についてどう思うか》					
	4、相手を理解していない		35.3%	22.4%	42.3%
《あなたが対話の日本人なら「意見」を使うか》					
	1、使わない		38.0%	33.5%	28.5%
	5、講演をあまり評価していない表現だから使わない		40.1%	27.5%	32.4%
24 タクシー運転手との会話		[日本で]			
日	4、日本人として普通の会話をしていた		40.2%	19.6%	35.3%
中	3、普通の中国人		41.8%	28.1%	30.1%
25 教授に相談-電話で失礼します		[中国で]			
日	2、控えめ		36.1%	37.4%	26.5%
《「研究室に伺わないで”電話で失礼します””と言ったことをどう思うか》					
	4、失礼をしているとの考え		44.2%	18.4%	37.3%
26 沈黙-会話が途切れる		[中国で]			
日	3、消極的な感じがする		42.1%	21.5%	36.4%
	4、誠の言動に悪いところはない		28.4%	35.4%	36.2%

付 録

対話例と設問例

4 ハウスタワー

[中国で]

田中夫人は中国に来て1年になる。今日は新しい友達、張夫人をお茶に招いた。張夫人が田中家へ来るのはこれが初めてである。

張 夫 人：こんにちは！

田中夫人：こんにちは！

張 夫 人：お招きくださってありがとう。

田中夫人：どう致しまして。

張 夫 人：本当に素敵なお宅ですね。

田中夫人：とんでもない。とっても古いですよ。まあ、お座りください。

(田中夫人はお茶の用意をしに台所へ行く。張夫人は席を立てて台所に入って来た。)

張 夫 人：何かお手伝いすることがありますか。

田中夫人：あ、結構ですよ。どうぞお楽になさって。すぐ行きますから。

張 夫 人：有難うございます。良かったらお家の中を見せていただいていたいいですか。

田中夫人：あ、ごめんなさい。ちょっとお見せできるようなものじゃないんです。

《田中夫人に対して》

非常に同意

不同意

1、中国に来て1年なのでこのような行動は当然だ。 ……………	1	2	3	4	5
2、自国の慣習に従って行動しているだけ。 ……………	1	2	3	4	5
3、普通の日本人。 ……………	1	2	3	4	5
4、謙虚。 ……………	1	2	3	4	5
5、文化的相違を分かっていない。 ……………	1	2	3	4	5
6、各部屋を案内しないのは常識がない。 ……………	1	2	3	4	5

《張夫人に対して》

非常に同意

不同意

1、普通の中国人。 ……………	1	2	3	4	5
2、困惑している。 ……………	1	2	3	4	5
3、率直。 ……………	1	2	3	4	5
4、相手に迷惑だということを分かっていない。 ……………	1	2	3	4	5
5、日本の慣習を理解していない。 ……………	1	2	3	4	5
6、礼儀正しい。 ……………	1	2	3	4	5

19 忘年会より試験

[日本で]

李は東京のある大学で学んでいる中国からの留学生である。彼は1年生でテニス部に所属している。テニス部では今週の水曜日に忘年会をすることになっている。しかし李は木曜日の朝に期末テストがある。今、李は先輩の太郎と話しているところである。

太郎：水曜日の夜に会おうぜ。

李：ああ！そのことなんですが... 木曜日にテストがあるので、勉強しなければいけないんです。

太郎：だから、水曜日の夜だし、いいだろ！

李：いいえ、僕は行けないということなんです。
 太郎：なんだって、来れないのかい？来なくちゃ駄目だよ。
 李：ええっ！
 太郎：部員全員が集まるんだから、特別行事だぞ。
 李：すみません。でも忘年会より成績のほうが大事だから。
 太郎：なるほどね！
 李：それじゃ、さようなら！
 （太郎が他の部員に話している）
 太郎：李は何も分かっていないんだ。

《太郎について》

	非常に同意					不同意				
1、集団志向－個人を無視している。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2、融通が利かない。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3、何も分かっていない。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4、典型的日本人。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5、中国のやり方を理解していない。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6、押し付けがましい。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7、成績のことを気にしない人。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

《李について》

	非常に同意					不同意				
1、普通の中国人。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2、自分の意思をはっきり言って良い。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3、礼儀正しい。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4、自分のことが大切なので、当然の行動。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5、個人主義すぎる。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6、何も分かっていない。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7、もう少し言い方を上手にすべき。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

《あなたが李だったら》

	非常に同意					不同意				
1、顔だけ出す。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2、忘年会に参加。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3、言い方に気をつけて断る。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4、李と同じように行動する。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5、説得する。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6、参加しない。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

《あなたが太郎だったら》

1、顔だけだすように言う。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2、部活動の意味を教える。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3、太郎と同じように行動する。……………	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

A Survey of Intercultural Reactions to Situational Dialogues : Results from Chinese Students

Hisayo Yokobayashi*, Luo Ming Kun**

<Abstract>

The importance of the relationships between Japan and China is increasing these days. It is vital that younger generations have attitudes that are free from prejudice. We need research that clarifies how Japanese students and Chinese students evaluate intercultural conflict situations

This study examined intercultural cases where misunderstandings to counterpart cultures could easily occur through a questionnaire containing 26 dialogues, each of which were followed by several possible statements

The purpose of this paper is to report the results of the questionnaire. The questions evaluated how Chinese students feel in situations of intercultural conflict. For the study, 124 students from three Chinese universities (two in Beijing and one in Dalian) took part in the survey. The results show that the Chinese students are generally free from stereotypical responses.

Keywords : Japan-China intercultural communication, Chinese students, questionnaire, situational dialogue, attitudes

* Professor in the Department of Tourism, Faculty of Humanities, Seinan-Jo Gakuin University

** Contracted Professor in the Department of Tourism, Faculty of Humanities, Seinan-Jo Gakuin University